

赤磐市立幼稚園・学校の適正規模・適正配置に関するアンケート

【保育園・こども園 保護者用】

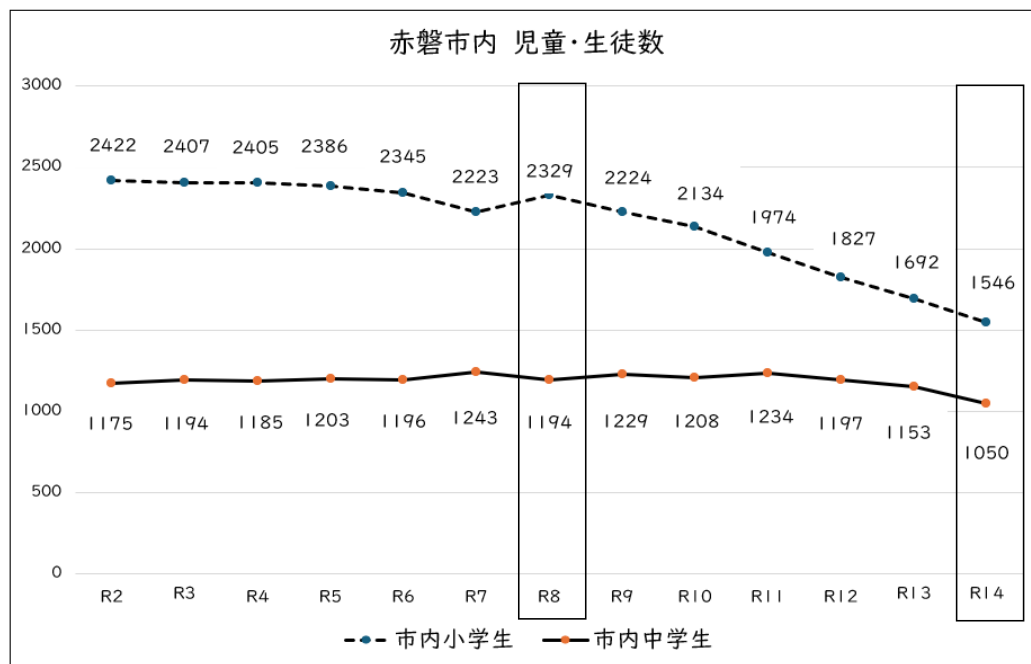
赤磐市教育委員会では、幼児・児童・生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、協力しながら、一人一人が資質・能力を伸ばしていける教育環境を維持・整備するために、赤磐市教育環境整備審議会を設置し、検討を進めています。本年5月1日のデータをもとにすると、6年後の赤磐市内の小中学生数は、現在の小中学生数よりも900人以上減少する見込みです。現状を踏まえ、保護者の方の考えや思いを把握するために、本アンケートを実施いたしますので、御理解・御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

※本アンケートは特定の方針や学校の統廃合をあらかじめ決定、または前提としたものではありません。

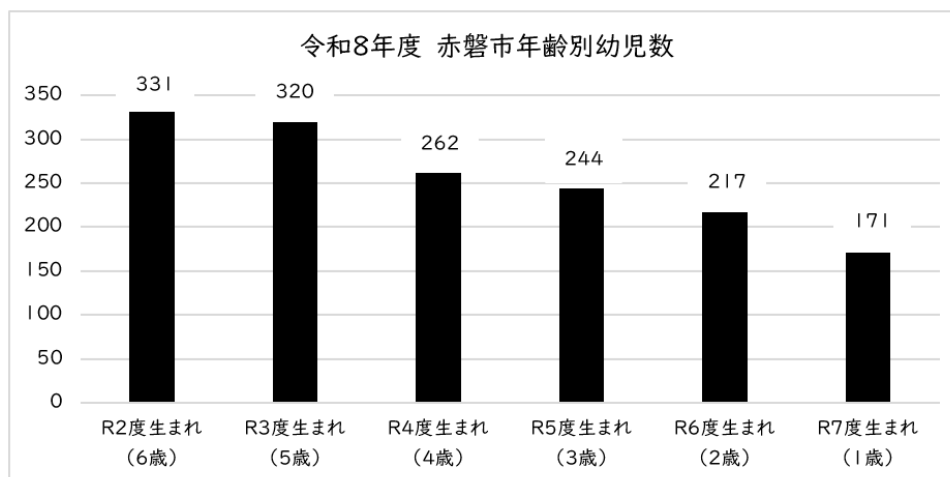
※調査は無記名で個人が特定されることはありません。また、他の目的には一切使用することはありません。

<参考資料>

① <赤磐市内 年度別児童・生徒数> 令和8年5月1日現在



② <赤磐市内 年度別幼児数>令和8年5月1日現在



③ 令和8年度の1学年の学級数(特別支援学級数は除く)

校種	1学年の学級数	幼稚園・学校
幼稚園	複式学級	いわなし幼稚園
	1	山陽幼稚園、山陽西幼稚園、ひかり幼稚園 山陽北幼稚園、桜が丘幼稚園
小学校	複式学級	仁美小
	1	山陽西小、赤坂小、豊田小、磐梨小、城南小
	2～4	山陽小、山陽東小、山陽北小、桜が丘小
中学校	1	赤坂中、吉井中
	2	磐梨中
	3	高陽中
	6	桜が丘中

(1) お子さまが通われている保育園はどこですか。【1つ選択】

(2) お子さまが将来入学予定の小学校はどこですか。【1つ選択】

(3) 将来入学する予定の小学校の規模や児童数をどう思いますか。【1つ選択】

- ・大きい(多い)
- ・適切
- ・小さい(少ない)
- ・わからない

(4) 小学校の1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。【1つ選択】

※子どもたちが集団の中で、多様な考え方に触れ、協力しながら、一人一人が資質・能力を伸ばしていけるという視点からご回答ください。

- ・複式学級(複数の学年を1学年に編制した学級のこと)
- ・1学級
- ・2学級
- ・3学級以上
- ・わからない

(5) (4)を選択した理由を教えてください。【3つまで選択可】

- ・固定されたメンバーで、長期間深い人間関係を築いてほしいから
- ・学年全体がアットホームで、教職員の目が届きやすい環境がよいから
- ・登下校の安全確保や、地域の目が行き届く規模が望ましいから
- ・多くの学年の友達の多様な考えに触れながら、協働的な活動ができるから
- ・クラス替えによる新しい友人関係の広がりや、新しい環境の変化を期待できるから
- ・教員の配置に余裕があれば、習熟度別学習やクラスの枠を超えた活動形態がもてるから
- ・運動会や学習発表会などの活動で、クラス対抗の活気や競争、クラスを超えた協力を経験できるから
- ・活動の中で様々なグループを編成したり、クラブ・委員会活動等の選択肢を増やしたりすることができるから
- ・わからない
- ・その他

(6) 小学校の1学級あたりの児童数はどの程度が望ましいと思いますか。【1つ選択】

※子どもたちが集団の中で、多様な考え方に触れ、協力しながら、一人一人が資質・能力を伸ばしていけるという視点からご回答ください。

- ・10人以下
- ・11人～20人
- ・21人～30人
- ・31人以上
- ・わからない

(7) (6)を選択した理由を教えてください。【3つまで選択可】

- ・ゆとりのある教育環境で、子どもがのびのびと学習に取り組むことができるから
- ・授業、学校行事などの活動で、一人ひとりに活躍の場や役割をもちやすいから
- ・教員の目が一人ひとりに行き届き、きめ細かな指導や声かけが期待できるから
- ・多様な意見や考え方に触れ、社会性やコミュニケーション力が身に付くから
- ・人間関係が固定化されず、様々な友達と関係を築くことができるから
- ・授業、班活動、係活動、学校行事などで、互いに助け合う協働する力が身に付くから
- ・運動会や学習発表会などの活動を通し、クラスの一体感や達成感を味わえるから
- ・意見の相違やトラブルを集団の中で、解決する力やたくましが身に付くから
- ・わからない
- ・その他

(8) あなたは、お子さまをどのような小学校に通わせたいと思いますか。【3つまで選択可】

- ・自ら考え、授業や活動の中で、自己選択・自己決定したり、自己調整したりすることができる
- ・子ども同士が協力する活動を通し、人間関係を深め、社会性を身に付けることができる
- ・多様な考えに触れ、互いの違いを理解・尊重し、認めることができる
- ・自分の考えを進んで表現することができる
- ・様々な場面で一人一人が役割を務める機会をもち、自己肯定感を向上させることができる
- ・グローバル化や ICT 化など、様々な社会の変化に対応する力を身に付けることができる
- ・心身ともに健康でたくましく、日々充実感を得ることができる
- ・ふるさとを愛し、誇りをもつことができる
- ・教育施設・設備が整った環境で生活することができる
- ・習熟度別学習やグループ学習など、子どもに合った多様な学習形態をもつことができる
- ・学校・保護者・地域が一体となった活動を行うことができる
- ・わからない
- ・その他

(9) 今後、赤磐市の幼児・児童・生徒数が減少すると予測されることを考えた時に、小中学校の適正規模・適正配置についてどう考えますか。【1つ選択】

文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」では、「クラス替えや学級を超えた集団の編成、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上あることが望ましい。」としています。（要旨）

- ・検討する必要がある
- ・どちらかと言えば、検討する必要がある
- ・どちらかと言えば、検討する必要はない
- ・検討する必要はない
- ・わからない

(10) (9)で回答した理由をご記入ください。